資料３－１

学校施設の目指すべき姿（修正案）

１　安全性の確保

学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす場であり、事故や事件等が発生することのない、安全・安心で衛生的な環境を整えることが不可欠です。

また、学校施設は、災害時における地域の避難所として、重要な役割を担っており、防災機能の強化という観点も重要です。

そこで、施設・設備の老朽化対策のみならず、避難所施設としての安全性及び機能の強化を図る整備を行うことで、安全・安心で衛生的な学校施設を目指します。

２　学習環境の向上

学校施設は、教育活動を行うための基本的な要素の一つであり、すべての児童生徒に対して、充実した教育を十分に展開できるよう、多様な学習活動を可能とする環境を整えることが必要です。同時に、将来における教育改革や、学ぶスタイルの変化等にも柔軟に対応していくことができる学習環境を整備することも重要です。

そこで、これらの点を考慮した整備を行うことで、児童生徒の学習環境の向上を目指します。

３　生活環境の向上

学校施設は、すべての児童生徒・教職員にとって快適な環境であることが求められる生活の場であることから、生活様式の変化や社会の多様化等に留意し、機能性や利便性を高めることが重要です。

加えて、持続可能な社会の実現に向けて、学校施設においても、省エネルギー化の推進等によって、環境負荷の低減を図ることが重要です。

そこで、これらの点を考慮した整備を行うことで、児童生徒・教職員の生活環境の向上と環境負荷の低減を目指します。

４　地域とともにある学校施設づくり

児童生徒の豊かな学びや健全な成長を支えるためには、学校だけでなく地域が参画し、学校と地域との交流を通して、一体となって学校教育を推進していくことが重要です。

また、学校施設には、防災拠点としてだけでなく、地域住民や地域で活動する様々な団体の生涯学習活動や地域活動の場としての役割も期待されており、学校と地域とが連携・協働していくことで、学校を核としたコミュニティづくりが推進されることなども見込まれます。そのため、学校施設が有効に活用され、地域から愛着を持って支えてもらえる施設となるよう、少子高齢化等の社会の変化や各地域の実情等をふまえながら、周辺施設との複合化や地域活動の拠点確保の可能性などについても検討を進めていく必要があります。

そこで、これらの点を考慮した整備を行うことで、地域とともにある学校施設を目指します。